

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	導水管・配水管・給水管・消火栓維持管理事業				事務事業コード	02802	
部名	水道部	課名	水道施設課	係名	水道管理係	部課コード	180200

1. 事業概要

総合計画コード	5421				
事業年度	年度	～	H	年度	事業類型
法令等の義務付け	<input checked="" type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 水道法	
めざす目的成果	漏水事故等をなくし、水を安定供給している。				
事業内容	上水道台帳を適切に管理し、配水管及び給水管の修繕を行う。消火栓の設置及び修繕をする。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 管路の漏水調査を実施し、修繕を行う。漏水調査は専門業者、修理は朝霞市指定給水装置工事事業者(待機当番業者)などが行う。消火栓の設置及び修繕をする。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・上水道台帳を適切に管理するため、給水管路3077戸、配水管路13.0キロメートルを補正した。 ・漏水修理を迅速に行うため、待機当番業者(13社)を決め、24時間365日対応することができた。 ・消防署から要望のあった路線に新設消火栓を2基設置した。また、既設消火栓の修繕を15箇所行った。 ・漏水修理箇所の舗装復旧を5件行った。				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]～[ホ]		41,939	79,315	76,289	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他	5,384			
	[ホ]一般財源	36,555	79,315	76,289		
	b 人件費		8,427	7,694	9,893	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		50,366	87,009	86,182	
投入労働量	常勤職員等(人工)		1.15 人	1.05 人	1.35 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		時間	時間	時間	
a 事業費 (H28年度決算見込)の執行内訳	・給水管修理 482件 28,595千円    ・修理に伴う舗装復旧 5件 951千円 ・配水管修理 6件 2,774千円    ・上水道台帳補正 2,927千円 ・その他修理 43件 16,895千円    ・漏水修理等待機 6,031千円 ・消火栓修理 16件 4,977千円    ・CAD設計積算 2,290千円 ・消火栓設置工事 2基 1,684千円    ・その他(被服、備用品、賃貸、修繕、材料)9,165千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	① 消火栓設置数	基	2	2	2	2
			( 2 )	( — )	( — )	H 32 年度
動	② 上水道台帳の更新回数	回	1	1	1	1
			( 2 )	( — )	( — )	H 32 年度
成	① 漏水修理件数	件	450	450	450	450
			( 488 )	( — )	( — )	H 32 年度
果	②					
			( )	( — )	( — )	H 年度

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> ・水道法第6条の規定により、水道事業は原則として市町村が経営するものになっている。 ・導水管・配水管・給水管・消火栓の漏水修理を行うことにより、貴重な水道水の漏水を減少させている。 ・漏水修理を実施しなければ、漏水に伴う道路陥没等の二次災害を引き起こす可能性が生じる。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 配水管・給水管などの漏水修理を実施したことにより、平成27年度より平成28年度(2月末)の有収率は0.8ポイント上昇し、前年度より有収率は上昇する見込みである。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 安心して水道を利用できるように、24時間365日体制で漏水や故障に対応した。 参加と協働: 断水やにごり水が発生する場合は、事前に工事のお知らせを行い、協力をお願いした。 経営的な視点: 早期に対応することにより、修理費用や漏水量を減らした。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 消火栓の修繕は、消防署との連携を密にし、修繕を実施していく。		

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )				
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
今後の取組方針	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続				
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大		(実施時期 : H	年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	消火栓の修繕は、消防署との連携を密にし、修繕を実施していく。また、長期間の休暇となるゴールデンウィーク及び年末年始などは、配水管など市民生活に影響の大きい漏水修理に対応するため、担当職員で当番日を決め対応していく。				